

京楽座 代表 中西和久様

〒160-0023

東京都新宿区西新宿6-12-30

芸能花伝舎3F

公益社団法人 日本劇団協議会

会長 西川信廣

2013年9月9日に公益社団法人 日本劇団協議会 会長の私 西川に提出された質問にお答えします。

この間、二度の常務理事会、11月16日の理事会で中西さんの質問について意見交換し、議論いたしました。その中で「いかなる差別も、私たちは許さない」という点で、全理事の認識は一致しています。その上にたつて、全国演劇鑑賞団体連絡会議（以下、全国演鑑連と表記）と京楽座及び中西氏は未来志向で対話の場を設け、改めて両者が良好な関係を築く必要があると考えました。

まず、高橋武比古氏の日本劇団協議会理事就任の経緯についてご説明します。これまで推薦理事は会長の提案事項でした。しかし、新公益法人になって、より公共性、客観性が重んじられることから、推薦理事は役員選任規則により役員候補者推薦委員会が推薦することになりました。その推薦委員会の議論の中で、全国演鑑連とお付き合いの長い会員が多数ある協議会として、厳しい演劇創造環境を乗り切っていく為にも、戦後日本の現代劇を観客の立場から支えてきた全国演鑑連の事務局長である高橋氏に加わって頂き、現代演劇のこれからを考えて行くことには必要であろうとの意見があり、その推薦を受けて審議の結果、就任を委嘱しました。

次に中西さんの「差別発言の経緯」を読ませて頂き、ことの経緯は十分理解できました。ただ、当事者のみ知りえる発言ですから、本来当事者間での事実確認が必要です。その上で、組織としての対応を求めるべきだと考えます。とは言え、事実確認が困難であるとするれば、当協議会の正会員である京楽座・代表の中西氏と理事就任をお願いした高橋氏に対し、会長である私の責任として、必要であれば、改めて両者が良好な関係を築く対話の場を設けることを提案したいと思います。

2013・11・25

西川 信廣